

組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合

発行 昭和48年3月15日 第5号 印刷 有限会社 板野印刷



■ 乳価対策

中標津農協参事

成田武

激しく動く経済環境と異状な諸物価の値上げ攻勢のさなかにあつて、四十八年の保証乳価運動はスタートした。

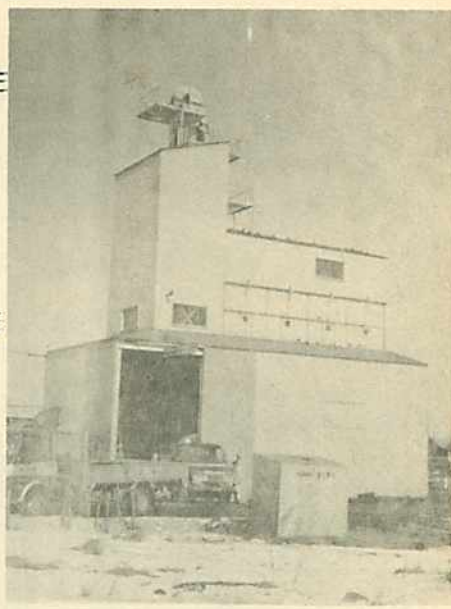
突発的な配合飼料の相次ぐ高騰、諸経費の上昇は、もう理屈ぬきに乳価の大幅引き上げを獲得しなければ、今後の経営がピンチの事態となる。したがつて今年の乳価対策は、道酪対本部を拠点として、過去の苦い経験を反省し強力な運動体制に入つてゐるが、要求価格は、生産所得補償方式に加えて物価等をスライドした方式をもちい、最低一〇円以上の引き上げを目指している。

去る二月二十三日には、全国酪農畜産危機突破大会が開催され、当農協酪対からは、青山副会長が参加したが、今後三月中旬から下旬にかけて、根室管内大会、ならびに全道・全国大会が開催される。

当組合としても農協酪対を中心に、生産者代表を全道・全国大会に動員を願ひ、何としてもこの獲得に全力を尽くしていきたい。

酪農家に連続パンチ

配合飼料再び値上げ



値上りと原料不足で貯蔵庫も淋し顔

飼料原料の高騰はとどまるところを知らず新春早々の値上に引続き又々三月一日より配合飼料はトシ当四、九五〇円の大巾値上が決定した。酪農家にとつての連続パンチは正に泣き面に蜂とは、このことか。

農協では酪農家の苦しい現状をふまへて三月一日からの値上幅は実質値上り分二〇K当六一円のみにとどめ、対応することにした。では昨年末からでは実際に幾ら値上りしたか。又今後の見通しを簡単に説明します。

一月二十一日トシ当二、五〇〇円の値上であるがそのうち安定基金より一、一三〇円を補てんし差引一、三七〇円、二〇K当二八円の値上となり、更に今回(三月一日)トシ当四、九五〇円の値上で

あるが、安定基金より一、八七〇円補てんし差引三、〇八〇円、二〇K当六一円の値上となり一月・三月合せて七、四五〇円の値上りに対し、安定基金より三、〇〇〇円補てんし差引四、四五〇円、二〇K当八九円の値上となった。

例をホクレン特配二〇号バラの場合の三月一日からの新価格は七九円となる。

雪印、明治其の他の配合についても大体同程度程度の値上に押へることになろう。

さて四月以降の見通しであるが円の切上、政府保育の古々米五〇万トン、大小麦二五万トンを三月・六月にかけての集中放出等の緊急対策も焼石に水、幾らかの値上抑制剤とはなるであろうが、結果的には大巾値上げは「さげ」られぬ情勢のようであり、値上に加へ酪農家の必要量の供給に事欠くことのないよう政府の強力な施策を望みたいものである。



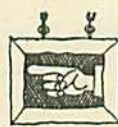
移動店舗

発展的廃止へ

生活様式の変化に対応

昭和三十七年八月 少、その意義、使命は失なわれた経営の合理化(伝票と考へられるので過般の委員会等会計への事務改善)で検討の結果、今年度末で発展的廃止を決定した。

により支所の全面廃止を断行したが、組合員の要望に基づき、今日迄移動店舗を続けて来たが、道路網の整備自家用車の殆んど全戸普及に加へ生活様式の一変等々により移動店舗の利用は年々急激に減望等をお待ちしています。



天候月別表で

作業計画を

北根室地区農業改良普及所が調べてくれた、年間天気日数の表が別表であるが、この表を参考にし、我が家の作業計画を樹て農機具の合理的利用と粗飼料の原料確保につとめよう。

北根室地区月別天気日数

(昭和36年～昭和46年の平均)

区分	月別											
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
快晴	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3
晴	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
曇天	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
降	10以上	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
水	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
稼働率	七七・五	七七・五	七七・五	七七・五	七七・五	七七・五	七七・五	七七・五	七七・五	七七・五	七七・五	七七・五

註 根雪日=12月15日 融雪期=4月16日

農民の健康を考える

中標津農協婦人部長 安達 いその

去る一月二十三日・二十四日の二日間、東京都に於て、第十八回

第18回 全国農協婦人大会に参加して

全国農協婦人大会が、開催されました。根室地区から開協婦人部の伊藤部長さん、中標津農協婦人部の渡辺副部長さんと私の三人が参加しました。前日の二十三日は

た。助言者の先生方の中には、農村のお医者さんで有名な、佐久病院々長若月先生がおられて、色々有益な助言をいただきました。話し合いは兼業農家が多く、留守を守る主婦が、集団検診に参加出来ず困っている。また集団検診の結果、血のうすい人が五割もあつたので、生活指導員を中心に緑黄色野菜を食生活に多く取り入れるようにしている、福島県では農繁期後、ゆっくり休める施設を婦人部で作っている、人間ドックにも入れるようになってきている等たくさん

の発言がありました。若月先生は「集団検診は一人残らず参加する事は大切で、一年に一回は人間ドックに入る必要がある、人間ドックは、一晩二日が標準である、お金は大切だけれど、我々は人間なのだ、農業は人間の食糧を作っているのだ、人間ドックは金持ちばかり入るのではなく農村でも集団で入って健康を守って、農民は力強く自信をもって生きて行かなければならない」と助言されました。

食品公害については、身体に害のあるココロラを追放して、みかんジュースをとの発言がありましたが、ココロラは規準内であるけれども、嗜好品であるから飲みすぎたら害を考えなければならぬ、子供には注意が必要であるとの助言がありました、また農業のために、母乳や牛乳が汚染されてBHCがふくまれており、バターは特に多くふくまれていると若月先生が言われましたので、私は

「北海道の牛乳には、BHCはふくまれていません、牛の飼料は農薬によつた物でなく、きれいな牧草です。」

私達婦人部は消費者に安心して飲んでもらうために、きれいな牛乳を生産するために、をテーマに学習活動をしています」と発言しますと、司会者や助言の先生方うなづいて下さいました。

若月先生は「北海道は広いので草を飼料にしているの、きれいな牛乳である」と申されました。私は北海道のきれいな牛乳を全国の人達に知っていただけてほんとうにうれしく思いました。

二十四日の大会では活動記録の表彰がありました。どの活動記録も一人一人の力を合せた立派なものでした。

健康について病気になるたり怪我をすれば病院に行く、これはだ

れでもする事です。でも健康な人が健康について考える事は簡単な事です、仲々実行されない事ではないかと思ひます。

私は、一月に開催された全国大会に初めて出席する事になり、青森に着くまでは本当に心配でしたが、安達部長さんに励まされながら東京に着きました。

会場は新宿区霞ヶ丘にある日本青年館で、全国から九百七十人が集りました。

二十三日と二十四日の二日間行なわれ、一日目は分科会でした。私は公害問題で学習しました。いま本州では、何もかもが公害で大変です。大気、水質汚染、自然破壊、食品公害、有害商品、農業公害では農薬、肥料、畜産とも、全てによって公害ということでした。北海道で特に根室では考えられない事がたくさんあります。公害は北海道にも発生していますので、今後私達も公害問題に対しては、組織の中で充分に勉強したいと思ひます。

公害に眼を向けて

中標津農協婦人部副部長 渡辺 シマ

第二十回全道農協婦人部大会 中標津を夜行でたち、洞爺には翌日の十時に着きました。三、四年前の大会の時は、スゴイ吹雪でひどかった事が想ひだされました。今年は大天候に恵まれ、今年々暖かくなる感じがします。

今年の大会は、設立二十周年記念がありましたので、本大会と分科会が十六日の半日で終わりました。私が出席した分科会は、水稲問題でして、ふだん生産に直接関係がないためもあり勉強で、私は消費者の立場で書いてきました。米の価格とか、肥料をつかわなかつたら三俵から四俵しかとれず、つかつたら倍以上もとれたとの事でした。

私は、根室から参加したので酪農に関した分科会に出席し勉強したいと思ひました。

全国農協婦人部大会

私は、一月に開催された全国大会に初めて出席する事になり、青森に着くまでは本当に心配でしたが、安達部長さんに励まされながら東京に着きました。

会場は新宿区霞ヶ丘にある日本青年館で、全国から九百七十人が集りました。

二十三日と二十四日の二日間行なわれ、一日目は分科会でした。私は公害問題で学習しました。いま本州では、何もかもが公害で大変です。大気、水質汚染、自然破壊、食品公害、有害商品、農業公害では農薬、肥料、畜産とも、全てによって公害ということでした。北海道で特に根室では考えられない事がたくさんあります。公害は北海道にも発生していますので、今後私達も公害問題に対しては、組織の中で充分に勉強したいと思ひます。

私は、一月に開催された全国大会に初めて出席する事になり、青森に着くまでは本当に心配でしたが、安達部長さんに励まされながら東京に着きました。

会場は新宿区霞ヶ丘にある日本青年館で、全国から九百七十人が集りました。

二十三日と二十四日の二日間行なわれ、一日目は分科会でした。私は公害問題で学習しました。いま本州では、何もかもが公害で大変です。大気、水質汚染、自然破壊、食品公害、有害商品、農業公害では農薬、肥料、畜産とも、全てによって公害ということでした。北海道で特に根室では考えられない事がたくさんあります。公害は北海道にも発生していますので、今後私達も公害問題に対しては、組織の中で充分に勉強したいと思ひます。

私は、一月に開催された全国大会に初めて出席する事になり、青森に着くまでは本当に心配でしたが、安達部長さんに励まされながら東京に着きました。

苫小牧

中標津町

土屋 正男

苫小牧市と中標津町は片や工業基地として、片や大型酪農計画の中心地として共に本道開発上、脚光をあびている地域であるが、それだけでなく私にとって苫小牧は生まれ故郷であり、中標津は転勤の末現在住みついている町である。現在でこそ巨船の出入りで賑う掘込式工業港や工場建設の槌音高らかに響き、北海道の心臓部という実感を肌で感ずるが、大正末期苫小牧は人口二万完全な王子製紙の城下町であった。

町の約半分は王子社宅で、市街地の人口も何らかの形で王子と関係があり、商店は会社と従業員に依存していたのである。冬はシバレが強く雪が少い、沼などにあつて手軽にスケートが出来たので昔から盛んであつた。昭和六年札幌に移つてからはスキーになつたが、それまではスケートばかりで、今でも女房と滑ることがある。

苫小牧時代から四十年後に中標津に住むことになつた。広範な根拠地域の配電線維持と今後の発展に備えて四十五年十月に北電の営業所が開設されたからである。当社としてこのようなことは久しく無かつたし、逆に事業所数を減少していたときに、当地域の発展を見抜いた上層部には先見性があつたと言えよう。

共同自家用配電線の引取も昨年十二月で完了し、管内で三万六千本に及ぶ電柱の保守は並大抵のこととでない。

電気工事業者の協力を得て除々に停電事故も減少してきているが酪農家には搾乳やバルク・クーラー設置で停電は許されない時代となつていゝるので一層停電の減少に努めたい。

今年から酪農業の機械化が進む



と思うが、このための電力三相化工事も遅れることのないよう進めなければならぬと思う。

根拠地域は当社からみても電力需要が旺盛で、新酪農村計画を背景に活況を呈して来たが特に中標津町は中心消費地としての形態を整え、その発展は工業の苫小牧に匹敵するものがあると思はれる。

しかし現在の酪農に至るまで辛酸を積んだ先人の後を受けて、これからの酪農は近代化も進み恵まれてはいるが、その反面農業技術は勿論、畜産、衛生、機械知識そして経営感覚を身につけ、国際競争に打勝つ厳しさが要求される。

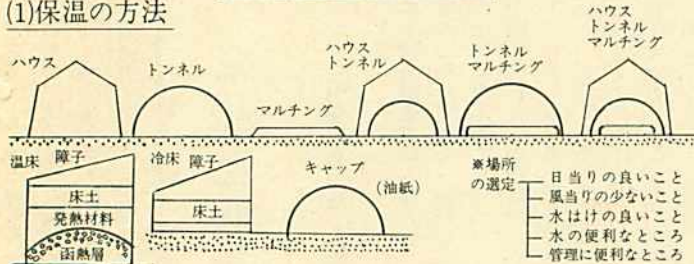
札幌を離れてから転勤と共に想出も多いが、中標津で一人娘の縁談が決まり私にとって生まれ故郷と共に忘れられぬ土地となつたのである。

この町の発展をいつまでも見守りたいと思う。

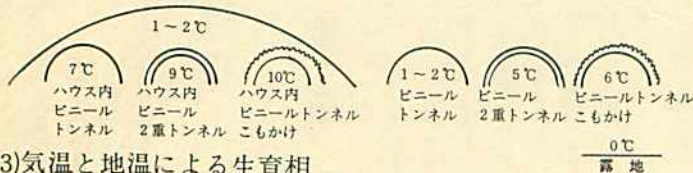


栽培管理の技術

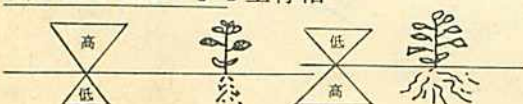
(1)保温の方法



(2)保温方法と保温力



(3)気温と地温による生育相



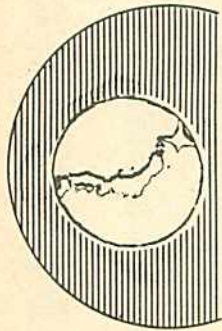
花と野菜の苗を育てよう

今年は例年になく積雪が少なく、三月の降雪量は予測できないが、比較的早めにビニールハウスの管理をし、花や野菜の育苗を楽しむことができそうです。昨年は婦人部の皆さんに、花だん造りと、花の植え方と、花の植え方を勉強してもらいましたが、早期に播種をした御家庭ではそれだけ永い期間を楽しめたようです。

栽培管理の技術として簡単に説明しますので参考にして下さい。

負債の推移と整理対策

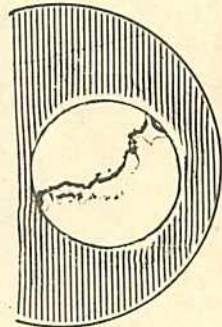
どうであるか金融政策の改善



酪農経営の急速な拡大および資本整備充実のために、多額の投資を行なってまいりましたが、制度資金の貸付条件が充分でない等のためもあり、多額の高利な一般資金を借入し、負債を累増させている現状にあります。

最近の新聞紙上等で周知のように、農家負債整理対策等について農家と系統関係機関が真剣に討議し、国に対し金融改善に関連して四十八年度実施を深く要請を続けてまいりましたところ、その措置が講ぜられようとしております。

具体的な措置についてはわかり次第機会をみてお知らせすることにするが、とりあげず本組合四四八戸の昭和四十七年十二月三十一日現在の負債の状況について、別記によりお知らせします。



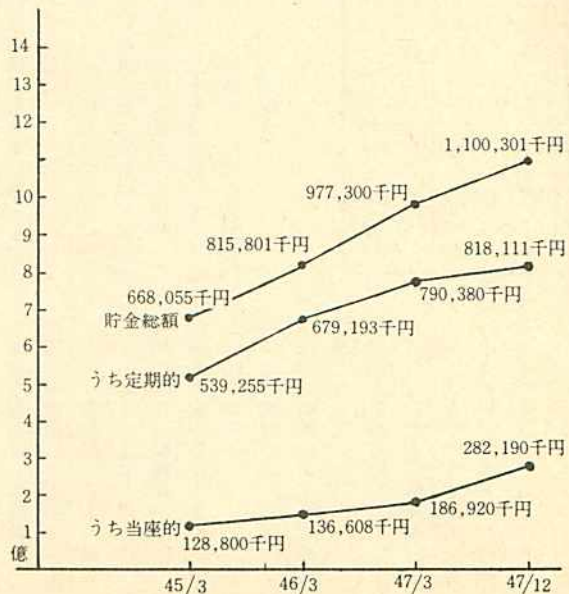
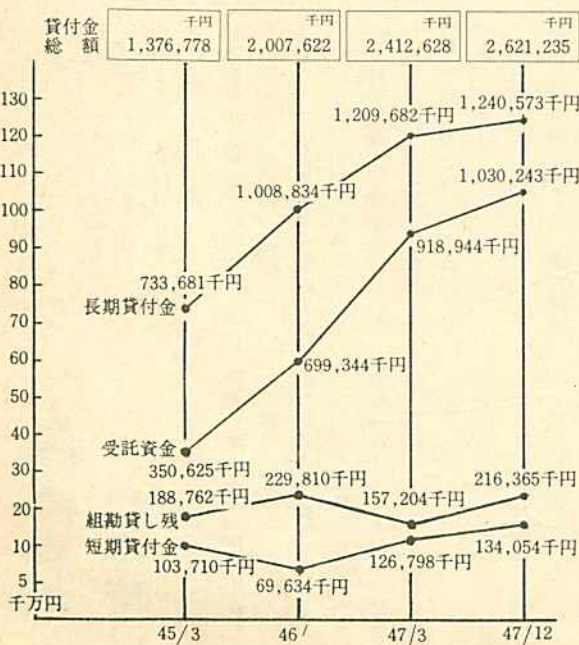
貸付金・貯金の推移 昭和47年12月31日調

正組員一戸当り平均貸付金

年度	44年	45年	46年	47年
区分	471戸	452戸	448戸	448戸
貸付金	千円 2,179	千円 2,894	千円 3,334	千円 3,551
受託資金	744	1,547	2,051	2,300
合計	2,923	4,441	5,385	5,851

正組員一戸当り平均貯金高

年度	44年	45年	46年	47年
区分	471戸	452戸	448戸	448戸
定期的	千円 1,145	千円 1,503	千円 1,764	千円 1,826
当座的	274	302	417	630
合計	1,419	1,805	2,181	2,465



家畜共済は『トク』か『ソソ』か

包括共済過去5カ年の実績まとまる

掛金一〇〇円で共済金一三四円受く

評価をあげるとまだ受けられる

「家畜共済は損だろ」「さっぱりおかげがないノ」など、いう声をしばしば耳にすることがある。実際のところ、この辺のことはどうなっているのだろうか。

包括共済も昭和四十二年にスタートしてから満五カ年を経過したので、共済組合では、過去五カ年の実績をまとめてみた(牛のみ)その結果、農家負担掛金に対する診療等の給付率が一三四、一パーセントという数字になった。つまり、一〇〇円の掛金を納めて一三四円余の共済金を受けとったことになる。もちろん、これは中標津農協管内全体の数字で、個人別にみるとバラツキがあるが、一応得か損かの答えとなりそうである。

以下この内容について、もう少し掘り下げてみようと思う。この五年間で、家畜共済に加入した農家は三七一戸、加入頭数は延べで三〇、七〇六頭、一戸平均八二頭余となる。またこれに要した掛金は、加入奨励金等を差引いた実際農家負担

分で六一、四三三、七三七円となっている。

これに対して、診療した牛の頭数は、延べで二三、六二四頭。また死亡及廃用にした牛の頭数は延べ九一五頭となっている。

これによって支払った共済金は死亡廃用及び診療による分を合わせて八二、三八二、九二五円となっている。

この結果給付率は一三四・一パーセントとなるわけであるが、個人別にその給付割合を示したのが別表である。三七一戸のうち一〇〇パーセントを超えないものが一三六戸。また超えるものは二三五戸で全体の六三・三パーセントになる。

だが、診療の場合、自分の無料点数部分をオーバーして、給付を

保険給付の個人別分布

給付率	戸数	同左のしめる割合
25%以下	7	1.8%
50%まで	22	5.9 "
75%まで	46	12.3 "
100% "	61	16.4 "
125% "	49	13.2 "
150% "	61	16.4 "
175% "	53	14.2 "
200% "	28	7.5 "
201%以上	44	11.8 "
計	371	100 "

受けられず、自己負担となる例がみられ、その金額はこの五カ年間で、一、九二〇、五二〇円もあり、これを一戸平均にすると五、一七六円となり、給付の対象からはずされている。

また廃用の場合、残存物としての肉値が、その個体の評価よりも高くなって、共済金を一円ももらえないという例も多くみられる。いずれの場合も評価が安いことから、せっかく受けられる給付をミスミス捨て、しまっているという結果になっている。

昭和四十七年度加入のこれまでの平均評価価格をみると、中標津農協管内で一三五、七〇四円。これは根柢管内でも非常に低い数字になっている。

間もなく年度も改たまり、引き受けの時期を迎えるわけであるが最近の牛個体の値上りも加味して共済の利点を充分生かして使う点からも、評価について高配をお願いしたいと思う。

入院病棟の利用情況

共済組合に昨年九月八院病棟が落成してから、大型の手術がこゝで実施されているが、その利用状況は次の通りである。

まず昨年九月から今年の三月五日現在まで、入院した患者の数は一四頭、そのうち一頭が廃用となっている。

手術別では、開腹手術が最も多くて九件、整形が二件、断蹄が同じく二件、乳房炎一件となっている。

開腹手術では、横隔膜炎、創傷性胃横隔膜炎による第一胃切開術が二件、腸捻転によるもの二件等、胃アトニーによるもの二件、亭玉切開が一件、腸纏絡が一件、それに盗食性食中毒によるもの一件の合計九件である。

また、整形では、外傷によるもの三件。断蹄はいずれも蹄底炎で二件となっている。

最近交通の便もよくなったので、こうした入院病棟の利用によって、大がかりな手術も行なわれることから、今後もその利用はふえるものと思われる。

乾乳期に乳房炎防除を

八〇%が分娩後一カ月に罹患

牛の病気の中で、過去一年間の発生状況を見ると、乳房炎が三割をしめている。しかもこのうち約八〇パーセントが、分娩後一カ月以内に罹患しているといわれ酪農家に重大な損害を与えている。

そこでこの分娩前後の乳房炎を減らすことが、本当の意味の乳房炎撲滅といえるわけで、最近注目視されている乾乳期乳房炎予防治療について、共済組合でも昨年暮から取組み、追跡調査をしたのでその点から述べてみようと思う。

これはオルベニンD C (一本三グラム) という乾乳用軟膏が出たことにより、その効果を試験する目的で行なったものである。

試験期間は昨年十一月十八日から今年の二月十六日まで、試用薬品は先に述べたオルベニンD C。注入した頭数は五八頭、このうち試験期間中に分娩したのは一三頭(内一頭は早産)。

この一三頭についてみると乳房炎の既発症のあるものが八頭で一二分房、乳房炎でなかったもの四頭であった。

それが、この分娩後現在(三月五日)にいたるまで、乳房炎の既

応症があるなしにか、わらず、この一三頭について、臨床型乳房炎の発生はみられない。

また注入した酪農家のお、かたの意見としては、乳量が前年より増した感じがするというところで、文字通りおどろくべき効果をあげている。

夢ではない

乳房炎ゼロ

もちろん、この乾乳用乳房炎軟膏を注入するだけでは、すべての乳房炎が撲滅されるのではないわけで、常に、牛、牛舎、牛床を清潔にし、適度の運動、良質の飼料を与えるといったような総合管理をよくすることが第一条件であることはいうまでもない。

そうした良い管理の上に、この乾乳期の乳房炎撲滅作戦をはかれば、乳房炎発生「無し」という飼養状態も夢ではなくなってくる。

技術懇談会

このオルベニンD Cの使用法等については、共済組合とよく相談のうえ、適切な処置を進めて、乳房炎防除につとめ、より安定した酪農経営をおし進めていきたいものである。

各地区で開催

映画「乳牛の病気」を上映

家畜の病気に対する知識を深め健全な酪農経営をす、めようと、

昨年からもたれている技術懇談会が、今年も



開陽地区での技術懇談会 (3月6日)

講師に迎えて、乾乳期の乳房炎、卵巣の腫と飼料の関係などについて考えるというもの。その他、乳業会社、農協などの技術員も含め、家畜飼育技術の問題点を話し合った。又、これと同時に「乳牛の病気」という十六ミリフィルム映画が上映された。



☆組合だより第五号をおとすけします。春三月組合員の皆さん

には、今年の営農計画も組まれ、雪の消えるのを今やおそしとまちうけているものと存じます。☆さて、本号では、共済組合の方から、抱括共済過去五カ年の実績農協の方から預貯金貸付金の現状など、年度変りの折柄や、数字の多い原稿が多くなりました。また今回は北電の所長さんをはじめ、三点の寄稿もいただきました。

乳牛改良技術と

農業問題をまなぼう

(一)国際化に対応する根室農業のありかた。

北海道新聞社(本社)

論説委員 種村諒三氏

(二)これからの乳牛改良について、北海道ホルスタイン・ブリーダーインサービス

角田隆一氏

(三)主催 中標津農業協同組合

(四)日時 昭和四十八年三月十日

九日

午前一〇時〜十六時

当日昼食は農協で用意します。

ガソリン

石油製品よお前もか

四月一日より値上実施

あれも値上、これも値上と、値上ムードの中で、石油製品の値上には、おもわず石油製品よ、お前もかと言いたい心境である。

石油製品の卸価格は昨年十月の今年二月一日。そして三月一日

からの大幅値上とたび重なる値上は一般小売業者(スタンド)は一斉に二月一日から小売価格の大幅値上を断行した。

値上時期、そして一般利用者と組合員との価格差をつける問題等を検討し、次のように決定を見ました。

先ず値上幅は最少限におさえる。値上時期は四月一日からとする。

価格は二本建として組合員価格を設け一般利用者との格差をつける。

この決定により農協のマージン率の低下。出費分は農協が抱くことになるが、かねてからの組合員の要望であった組合員価格の設定

については、大きく「こたえた」ことになり今後の系統利用を期待したい。

通りとなる。灯油については今回値上を見送り組合員価格も今後価格改定の際に設定する。

4月からの新価格

品名	組合員価格	員外価格	町の小売業者価格
品名			
キハツ(ハイオク)	六三円	六五円	七〇円
キハツ(ナミ)	五五円	五七円	六〇円
軽油	三六円	三六円	三七円
灯油	一六円	一六円	一八円

農協酪対役員会

開催される

中標津農協酪農対策協議会第二回役員会が去る二月十五日に開催された。

二月二十三日 畜産危機突破全国代表大会(東京) 三月七日 全国統一要求価格の決定 三月二十三日 全道乳価対策生産者大会(札幌) 三月二十六日(予定) 全国大会



海外実修生だより

二 江 光 生

オーストラリアにきてから三ヶ月目になりました。きてまだ何日も経っていないように思うけれど、実習生活の中期にきているようです。

彼は農場の仕事はせず巡回だけです。僕の働いている農場は、搾乳牛が一四〇頭で、体格点数が八〇点以上が六〇頭で、そのうち十五頭が八十五点以上と聞いて驚きました。

乳質にはかなり気をつけていて、搾乳時に乳頭やその附近に小さなゴミがついていたりすると注意されます。それでは、このへんで失礼しま

農場の家庭内には、日本人形や日本のアクセサリーが沢山あり、僕で実習生は五人目だということです。だから土産品をだすのがとてもだしにくかったです。(中略)

家族は、ミスター・ウィルスを筆頭に五人です。ミスター・ウィ

ルスは、マネージャーで、ボスは、ミスター・ストロンです。彼は五つの農場をもち、三つは搾乳、二つは育成だそうです。

仕事は予備知識よりかなり厳しく、朝は六時から始業し、夜は七

中標津農協青年部の

|| 行事予定 ||

- 3/4 農家経営アンケートづくり
- 3/10 卓球、バレーボール大会
- 3/13 地区労と役員懇談会
- 3/19 農民研修会 於 農協
- 3/23 全道乳価対策等大会
- 4/3 役員会
- 4/10 中標津農協青年部総会

全道乳価対策検討会(札幌) この日に全道要求価格キロ十円が決定された。